

.NET 6 などの最新環境に対応し、新機能を多数搭載した 帳票開発コンポーネントの新版を4月20日にリリース

— ActiveReports for .NET 16.0J —

グレープシティ株式会社（本社：仙台市泉区紫山 3-1-4、代表取締役社長：馬場 直行）は、Visual Studio 上で帳票アプリケーションを開発できる .NET 開発コンポーネント「ActiveReports for .NET（アクティブレポート）」の新バージョン「16.0J」を2022年4月20日（水）に発売します。最上位エディション「ActiveReports for .NET Professional」の1開発ライセンス価格は308,000円（10%税込）です。購入から1年間、テクニカルサポートとフリーアップグレードの利用が可能となる保守サービスが付属します。

ActiveReports は、レイアウトや書式といった外觀デザインの設定からデータ接続、印刷および PDF への出力設定まで、帳票開発に必要なあらゆる機能を備えています。

「セクションレポート」「ページレポート」「RDL レポート」の3つの帳票デザイン方式を採用しており、帳票タイプに合わせてレポート形式を使い分けることで、日本の帳票開発に求められる生産性と柔軟性を満たすことができます。

新バージョン「16.0J」では、.NET Core によるデスクトップアプリケーション（Windows Forms/WPF）開発に対応したほか、マイクロソフトのアプリケーションフレームワーク「.NET 6」をサポートするなど、.NET 環境への対応を強化しており、高パフォーマンスな .NET アプリケーションを開発することが可能です。

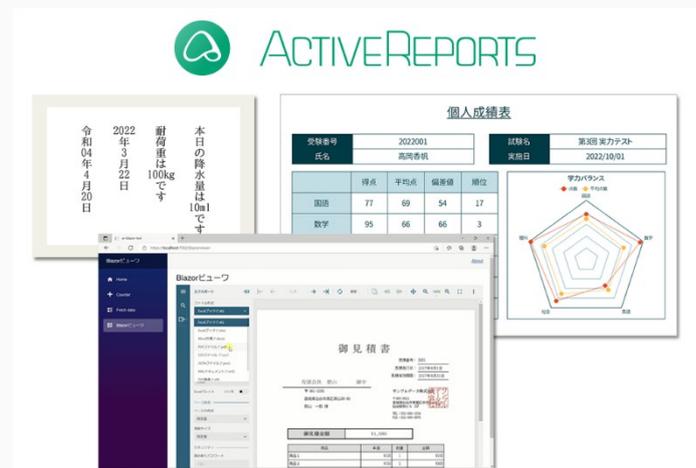
また、セクションレポートが ASP.NET Core に対応しました。これにより、すべてのレポート形式で JS ビューワや PDF エクスポート機能を使用して帳票の表示・出力が可能となります。アプリケーションの運用環境としては Windows や Linux、Mac 環境をサポートしているため、クロスプラットフォームで利用できます。

さらに、テキストを縦書きで表示する際に、テキスト内の半角英数字を水平方向に描画する「縦中横(たてちゅうよこ)」機能や、新たなバーコード形式「GS1 データマトリックス」などの搭載により、今まで以上に表現力豊かな帳票を簡単に実現できます。

このほかにも、お客様の要望にお応えし、様々な要件の帳票開発を支援する新機能を数多く追加しています。

- ActiveReports for .NET の詳細は、製品ページをご覧ください

<https://www.grapecity.co.jp/developer/activerports>



● ActiveReports for .NET 16.0J に対応する新環境

.NET 6 と Visual Studio 2022 に対応

マイクロソフトのアプリケーションフレームワーク「.NET」の最新バージョン「.NET 6」と、.NET アプリケーションの統合開発環境「Visual Studio」の最新バージョン「Visual Studio 2022」をサポートします。

セクションレポートが ASP.NET Core に対応

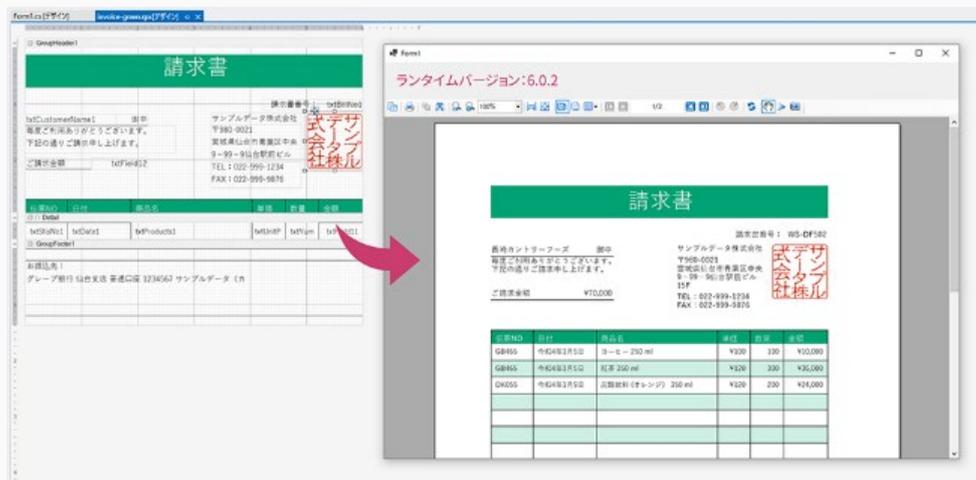
セクションレポートを ASP.NET Core アプリケーションで利用できるようになります。

これにより、ActiveReports が提供する 3 つのレポート形式すべてにおいて、JS ビューワや PDF エクスポートを使用して帳票の出力が可能です。また、アプリケーションの運用環境として、Windows だけでなく Linux や Mac 環境もサポートします。



.NET Core / .NET のデスクトップアプリケーションに対応

セクションレポート、ページレポート、RDL レポートのすべてのレポート形式で、.NET Core および .NET によるデスクトップアプリケーション（Windows Forms / WPF）開発に対応しました。



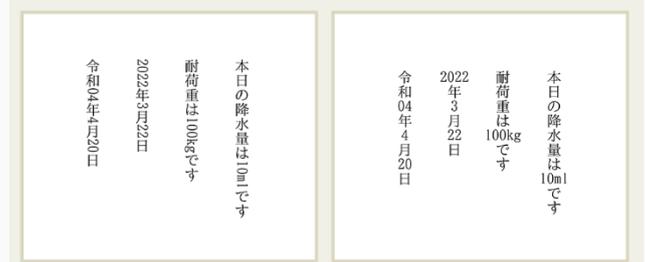
● ActiveReports for .NET 16.0J の新機能

縦中横 (ページレポート / RDL レポート)

テキストを縦書きで表示する際に、テキスト内の半角英数字を水平方向に描画する「縦中横 (たてちゅうよこ)」の利用が可能になります。

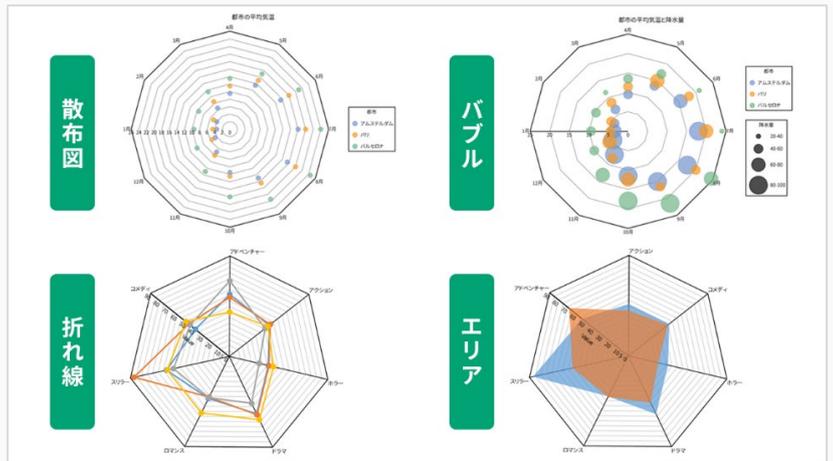
従来の縦書き

縦中横を有効化した縦書き



レーダーチャート (ページレポート/RDL レポート)

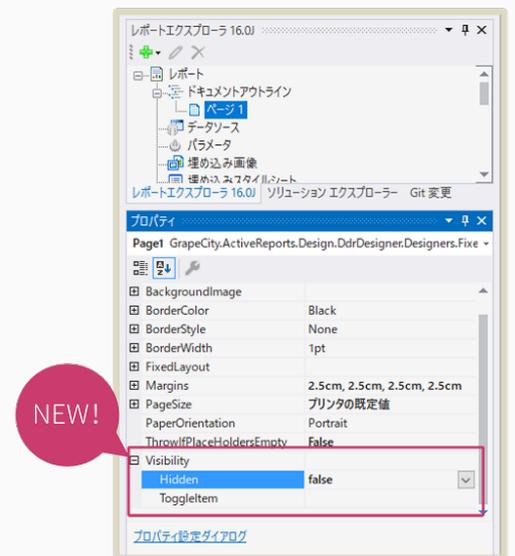
Chart コントロールで使用できるチャート形式 (プロットテンプレート) に「レーダーチャート」を追加しました。エリア、バブル、散布図、折れ線の4種類のレーダーチャートを作成できます。複数項目のデータを直感的に比較することができ、データ同士のバランスや特徴を見たい場合などに最適です。



ページの表示/非表示の制御 (ページレポート)

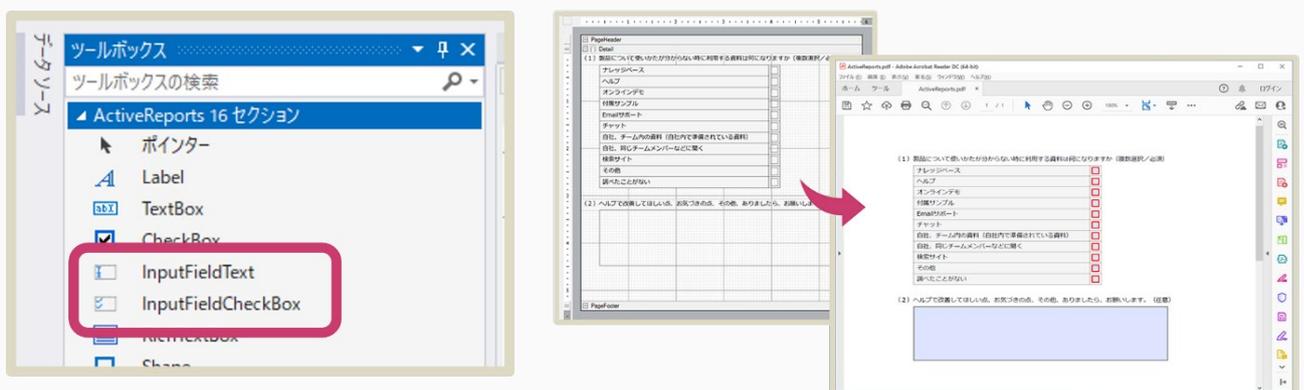
ページレポートのページオブジェクトに「Visibility.Hidden」プロパティが追加され、ページの表示/非表示を制御できるようになりました。「式」を併用することで条件に応じてページの表示有無を制御できます。

データの内容に応じて、異なるページのレイアウトを利用したい場合などに有効な機能です。



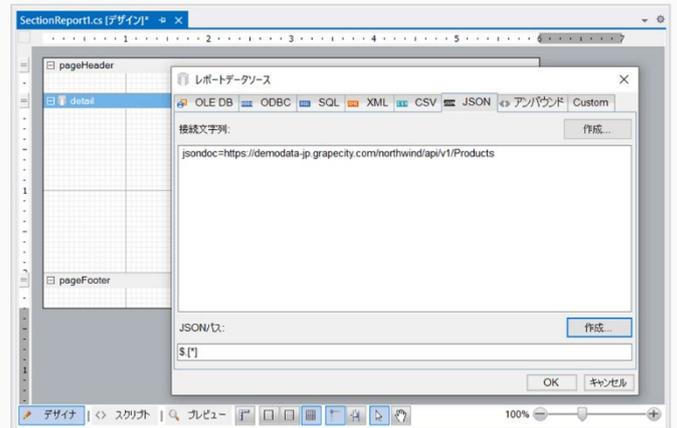
PDF フォーム作成用コントロール (セクションレポート) ※

PDF フォームを作成するためのレポートコントロール「InputFieldText」および「InputFieldCheckBox」を追加します。PDF エクスポートすると入力フォームとして出力されます。



JSON データソースに対応 (セクションレポート)

帳票データソースとしてキーと値のペアで構成された JSON 形式のデータを直接設定できるようになりました。Web API など外部の Web アプリケーションとの連携を容易にします。



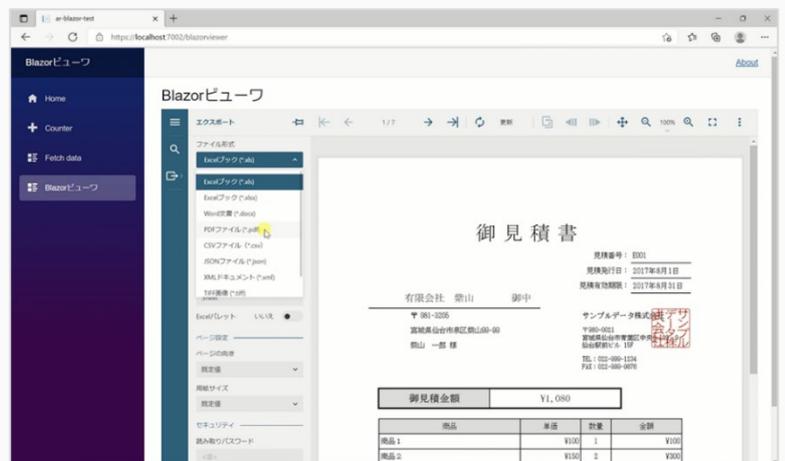
GS1 データマトリックス (全レポート形式共通)

Barcode コントロールで使用できるシンボルとして、医療用医薬品や医療機器に使用される「GS1 データマトリックス」を追加しました。



Blazor ビューフ (全レポート形式共通) ※

ASP.NET Core Blazor に統合して使用できる「Blazor ビューフ」を新たに提供します。Blazor Server、および Blazor WebAssembly の Razor コンポーネント上に組み込んで、レポートのプレビュー、印刷、各種エクスポートといった機能を利用できます。



※ ActiveReports for .NET Professional の限定機能となります

■ ActiveReports for .NET 16.0J の新機能詳細は、製品ページをご覧ください

<https://www.grapecity.co.jp/developer/activerports/release/16>

NEWS RELEASE

お問い合わせ

報道関係のお問い合わせ先

グレープシティ株式会社 ツール事業部 マーケティング部

newsrelease_GC@grapecity.com

022-777-8210

会社概要

会社名：グレープシティ株式会社 [GrapeCity inc. 略称：GrapeCity]

設立日：1980年5月

資本金：9千万円

代表者名：馬場 直行

企業サイト：<https://www.grapecity.co.jp>

事業内容：ソフトウェア開発支援ツールの開発、販売
<https://www.grapecity.co.jp/developer>

業務改善ソリューションの開発、販売
<https://www.grapecity.co.jp/enterprise>

学校法人向け業務管理ソフトウェアの開発、販売
<https://leysr.jp>

各種映像制作、およびスタジオの提供
<http://www.winestudios.com>

幼児英語教育ソリューションの開発、販売
<https://grapeseed.com/jp/>

社会福祉施設向けソフトウェアの開発、販売
<https://serve.jp/>

国内事業所：本社 仙台市泉区紫山 3-1-4 / 関東支社 / 関西支社 / 北関東営業所 / 首都圏営業所 / 九州営業所

海外事業所：アメリカ / 中国（上海・西安） / インド / ベトナム / 韓国 / マレーシア / ミャンマー

- ・ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ GrapeCity および ActiveReports はグレープシティ株式会社の登録商標または商標です。
- ・ その他記載されている製品名は各社の登録商標または商標です。